

第52回日本創傷治癒学会について

藤田医科大学社会実装看護創成研究センター
第52回日本創傷治癒学会 会長

須釜 淳子

コロナ禍の中、第50回・第51回をオンラインで開催された学術集會を、3年ぶりに現地開催とすべく準備を進めています。会期は2022年11月19日(土)・20日(日)、会場はJ Pタワー名古屋ホール&カンファレンスを予定しています。名古屋駅と直結しており、会場までのアクセスはとても便利です。

今回、第52回日本創傷治癒学会のテーマを「創傷ケアと実装科学」としました。「普及と実装科学は、様々な研究デザイン、方法論を用い、患者、保健医療従事者、組織、地域などのステークホルダーと協働しながら、エビデンスのある介入法を、効果的、効率的に日常の保健医療活動に取り入れる方法を開発、検証する学問領域です。(D&I科学とは | RADISH - D&I科学研究会(普及と実装科学研究会) (<https://www.radish-japan.org/about/dandi/index.html>)より)」日本創傷治癒学会は、創傷治癒に関する基礎的・臨床的研究の促進・発展を通じて、社会に貢献することを目的として、本邦で初めて設立され、多くの研究成果、すなわちエビデンスを創出してきた歴史ある学会です。その成果を、いかに実装し、普及するかについて、その方策を考え、積極的に行動を起こしていくことが、これからの創傷ケアに必要なことだと考え、テーマとして掲げさせていただきました。例えば、創傷管理に関するガイドラインの推奨事項は、どのように実践現場に取り入れられ、利用されて、継続されていくのか？ その普及のプロセスを促進、阻害する因子は何か？ 創傷管理が必要な対象者に、エビデンスのある創傷ケアが公平に実践されているか？などです。このような視点からも、参加者の皆様と考える機会になりましたら幸いです。

特別講演1, 2では、創傷治癒またはケアという枠組みを超えて、医療全体を考える時間になればと考え、医学と看護学の第一人者として筆者が尊敬するお二人から、それぞれご講演をいただきます。教育講演1, 2では、体の生理変化に伴う皮膚モデリング機構、救急領域におけるwound careと多職種連携についてそれぞれご講演をいただきます。シンポジウムでは、消化器外科手術に関するもの、心理的ケアを含めた術後の創部管理に関するものをテーマに、各シンポジストからのご発表と討論をいただきます。そのほか、ランチョンセミナーにおいても、参加者の皆様にとって有益となる内容を企画いただいています。

上記に加えて、新たな試みが2つあります。一つ目は、第51回学術集會との合同学術企画(海外招聘講演)です。これは、前回大会長・吉田昌先生の創傷治癒学の魅力について国際的に親交を深めたいというお考えの下、国際委員会・貴志和生委員長のご協力を得て実現する運びとなりました。二つ目は、看護学の中で創傷治癒と最も関係の深い学会、日本創傷・オストミー・失禁管理学会との初の共催セミナーです。参加者の皆様が、それぞれの学会の特徴を理解していただく良い機会になることを期待しています。

以上、第52回日本創傷治癒学会のプログラムのご紹介をさせていただきました。新型コロナウイルス感染状況を意識しながらの学会開催となりますが、多くの参加者の皆様の日々の実践の糧になることを願っております。



NEWS
LETTER

日本創傷治癒学会

2022.07
No.130

●日本創傷治癒学会事務局

〒160-8582

東京都新宿区信濃町35

慶應義塾大学

医学部形成外科学教室内

tel.03-3351-4774

fax.03-3352-1054

e-mail : info@jswh.com

URL : <https://www.jswh.com>

第52回日本創傷治癒学会のお知らせ

会期：2022年11月19日（土）・20日（日）

会長：須釜 淳子
（藤田医科大学 社会実装看護創成研究センター センター長・教授）

会場：JPタワー名古屋ホール&カンファレンス
（愛知県名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 KITTE名古屋 3階）

テーマ：創傷ケアと実装科学
Implementation Science in Wound Prevention and Management

大会HP：<https://www.congre.co.jp/jswh52/index.html>

【事務局】

事務局長：光田 益士
藤田医科大学 社会実装看護創成研究センター
〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98

【運営事務局】

株式会社コングレ
〒461-0008 愛知県名古屋市東区武平町5-1
名古屋栄ビルディング7F

E-mail：jswh52@congre-info.jp

※新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、
テレワークを実施しております。
当面の間、E-mailでお問合せいただきますようお願いいたします。



漢方は、自然から。

漢方は、たくさんの人の手と想いを経て生まれます。

長い年月をかけて、樹木が豊かな山を育み、その山で水が蓄えられる。

山で磨かれた水が、生薬をつくるための畑に注がれ、
生産農家のみなさんによって大切に育てられる。

人が本来持っている自然治癒力を高め、生きる力を引き出すことを目的とした
漢方にとって、「自然」はいのちを強くする力そのものです。

その力をそこなうことなく、すべての人が受け取れる形にして届けたい。
そして健康に役立ててほしい。

100年以上、自然と向き合いつづけてきた私たちツムラの願いです。

自然と健康を科学する。漢方のツムラです。



www.tsumura.co.jp

資料請求・お問い合わせは、お客様相談窓口まで。
[医療関係者の皆様] 0120-329-970 [患者様・一般のお客様] 0120-329-930
受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日は除く)